

クイックシート

注目のデザインシート BEST 3

分析しました!

皆様にご依頼いただいたデザインシートの中から、過去5年間で需要の推移が最も著しかった「優先駐車 標示」、「自転車・歩行者区分 標示」、「電気自動車充電スタンド 標示」の3点に注目し、様々な背景や理由を分析しました。

1 優先駐車 標示

様々な人が安心・安全で利用しやすい駐車場のために

バリアフリーからユニバーサルデザインへ

バリアフリーとは「バリア(障壁)を「フリー(のぞく)」という言葉から「障壁となるものを取り除き、生活しやすくする」ことを意味しています。この概念は1960年以降アメリカで広まり、日本では2000(平成12)年に『交通バリアフリー法』が施行され、歩道の段差をなくするなど道づくりにおいて様々なバリアフリー化が進んできました。

しかし、身体の不自由な人だけではなく、身体の不自由な人だけでなくバリアを除去すれば、別の人が不便を感じる場合があります。そこから、特定の人々のためだけでなく、誰もが使いやすい施設を目指す「ユニバーサルデザイン」が1980年代にノースカロライナ州立大学(米)のロナルド・メイス氏によって提唱されました。

このユニバーサルデザインは、障害の有無、年齢、性別、国籍、人種等に関わらず、**多様な人々が気持ちよく使えるようにあらかじめ都市や生活環境を計画する考え方**です。現在はこの考えが様々なところで取り入れられています。

パーキングパーミット制度導入

交通バリアフリー法により身障者用駐車場の整備が進む一方で、障害のない人が不適正に利用し、本来利用すべき人が利用しづらい状況が多くなってきました。

パーキングパーミットとは、**本当に必要とする人に共通する利用証を交付し、駐車場を利用できる人を明らかにし駐車場を確保する制度**です。ユニバーサルデザインのまちづくりの一環として、2006(平成18)年に佐賀県が全国に先駆けて導入しました。現在は29府県3市で導入されています。

導入後、制度が広まる中、利用者が増加し、「県外でも利用できるようにしてほしい」という新たな課題が見つかりました。近隣の県から相互化が進められ、2013(平成25)年2月より全国(制度が導入されている府県)で相互利用が可能になりました。さらに全国的な制度の導入が望まれますが、周囲環境や駐車場スペースの問題から制度の導入自体が難しいという自治体も多くあります。

この制度の全国で活用やユニバーサルデザイン化が進めば、様々な人にとって利用しやすく、安心・安全な社会の実現につながるのではないのでしょうか。



路面標示の活用

佐賀県では、利用者が増加したため、一般駐車場をパーキングパーミット専用駐車場に変え、専用駐車場の台数を増加させました。その際に専用駐車場の標示にクイックシートが活用されました。
佐賀県 W1200×H750 [D-B-61-A]

その他の優先駐車標示

様々な障害をもつ人が使いやすく、専用駐車場をより有効的に活用できるよう標示が車椅子マークだけでなく、様々なマークを取り入れた複合的な標示に変わりつつあります。



石川県 W1300×H1300 [D-B-56]

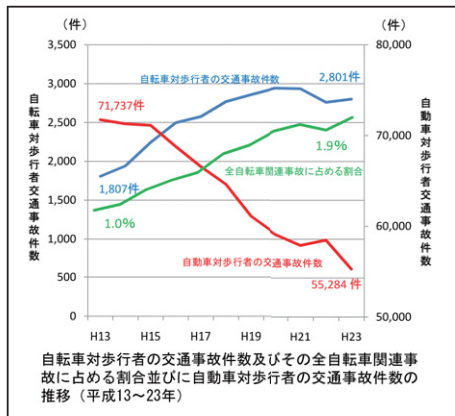
2 自転車・歩行者区分 標示

自転車対歩行者の交通事故数が10年前の1.5倍に!

自転車事故増加の背景

近年、健康ブームやガソリン高騰などの理由から自転車の保有が増加しており、交通事故全体が減少しているにもかかわらず、自転車事故が増加しています。

交通事故は自動車の普及とともに昭和45年にピークに達し交通戦争と呼ばれていました。当時は自動車による事故が急増したため対策として、歩行者の通行を妨げない速度で自転車の歩道通行を可能とする交通規制が導入されました。そのことにより現在では自転車は車両であるという意識が低下し、歩道上で交通ルールを守らず危険な自転車利用者が増加したため事故も増加したと考えられます。



出典: 自転車の交通ルールの徹底方策に関する懇談会(第1回)資料(警察庁交通局)

自転車の通行場所

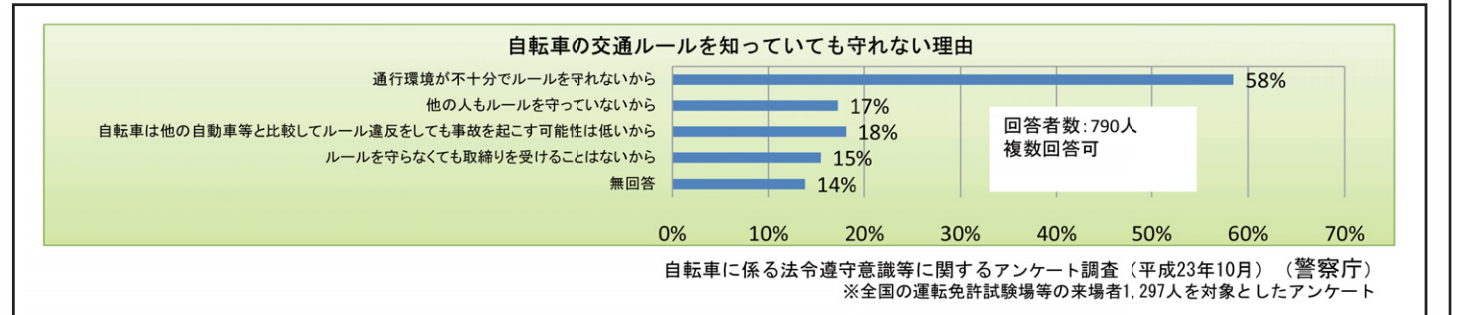
自転車は排気ガスが出ず環境にやさしく、利用者の健康増進や自動車による交通渋滞の解消に役立ちます。その観点からすれば、大いに普及が望まれる乗り物です。

しかし、自転車が自由に走行できる道はあまり多くありません。本来自転車は車道を通行しなければなりません、自動車との混合通行での自転車走行は危険を伴います。また歩道での混合通行も歩行者にとって安全を確保できません。

双方の安全を守るため幅員に余裕のある場合はできるだけ独立した自転車道を設置する必要があると思われます。



自転車通行帯標示
自転車と歩行者事故の増加により、自転車道の設置が急務となり、施行時間が短く、開放が早いクイックシートが活用されています。
石川県
矢印 W 750×H2000
文字 W1000×H1000
自転車マーク W1500×H1000 [D-B-75]



出典: 自転車の交通ルールの徹底方策に関する懇談会(第1回)資料(警察庁交通局)

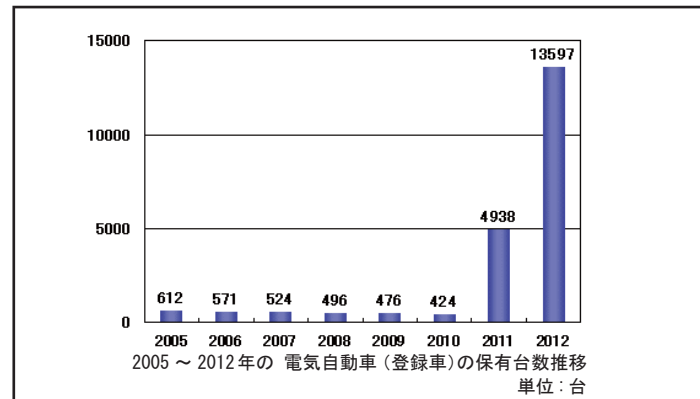
3 電気自動車充電スタンド 標示

電気自動車の保有率が急増!

ガソリン価格の高騰とクリーンエネルギー

近年、ガソリン価格の高騰とCO2削減など環境問題から、電気自動車が注目を浴びるようになりました。それに加え、近年発売された電気自動車は家庭で充電できるものなど以前にくらべ燃費や性能が向上したため保有台数が増加したと見られます。

円安など経済事情によりガソリン価格の高騰は今後も続くと思われる。経済的、環境的にもクリーンエネルギー車の需要は今後も高まると思われる。



出典: 自動車検査登録情報協会発行『わが国の自動車保有動向』

ガス欠ならぬ「電欠」の懸念

電気自動車の性能が向上したといっても燃費など、ガソリン車と同格とはいきません。スタンドの数も**ガソリンスタンドは全国約3,700軒**に対し、**充電スタンドは全国約7,900ヶ所**と充電スタンドがガソリンスタンドに比べ圧倒的に少ないのが現状です。

それに対し、経済産業省は2014(平成26年)度までに**電気自動車の急速充電器を約36,000基にする**など集中的に導入する計画がまとめられました。当初は2032年までに5,000基導入という計画から大幅に上方修正し、インフラ整備を加速させ電気自動車の普及がさらに後押しされます。



充電スタンド標示
立面標示だけでは分かりにくい場合があるため、ドライバーからの視認性にすぐれた路面標示が活用されています。
滋賀県 W2000×H2000 [D-C-53]

INFOMATION

グランチャルシート印刷シートが お求めやすくなりました!

グランチャルシートが皆様によりお使い頂けるよう、2013年4月より新しい価格になりました。お手数ですが、詳しい価格については弊社までお問い合わせ下さい。





企業広告【金沢ゆめ街道2009】
サイズ：φ8000mm

短期間
対応

【屋外路面用】印刷シート

グラブジャルシート

屋外路面から広告・サイン・デザインを発信する
“貼って剥がせる”新感覚の印刷シート

サイン

案内サイン
誘導サイン
規制サイン

広告

商品広告
企業広告
告知広告

デザイン

デザイン
シンボルマーク
会場演出

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

#SANKO NEWS 4 2013年4月号 Vol.44

SANKO サンコー企業株式会社

石川県河北郡津幡町字旭山11番地2 〒929-0447
Tel:076-289-6708(代表) Fax:076-289-6637

月刊 サンコーニュース

SANKO NEWS

April
2013
Vol.44

4



クイックシート

注目のデザインシート

BEST
分析しました!

3